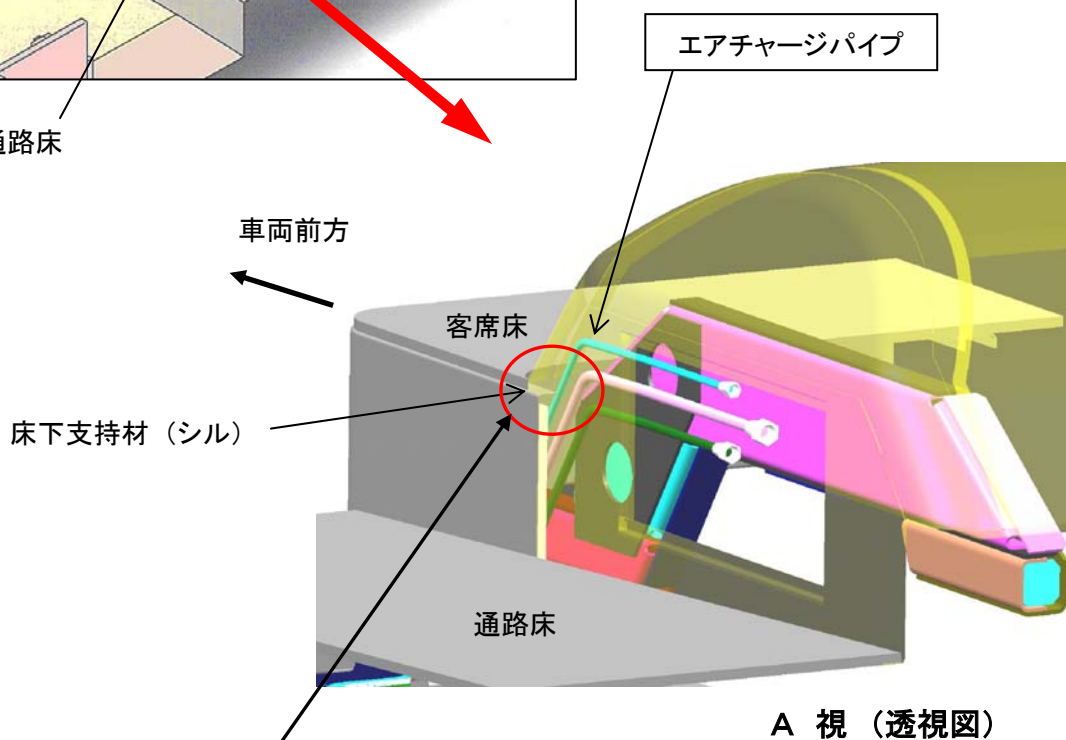
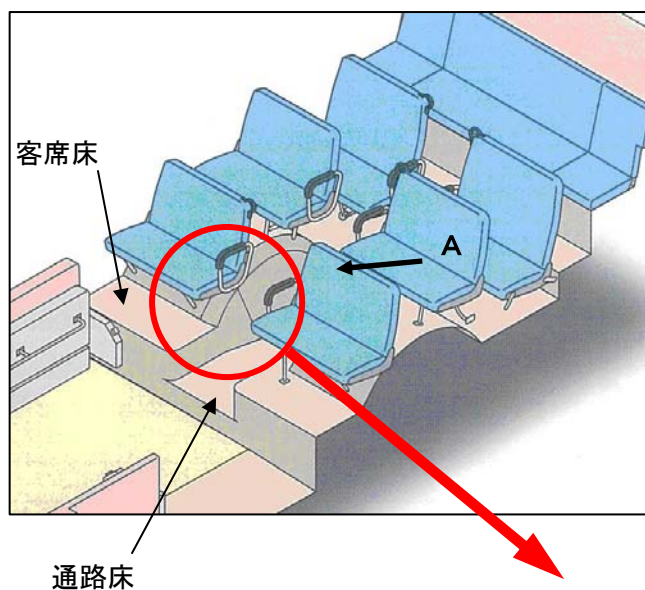


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

エアチャージパイプの取り回しが不適切なため、当該パイプと床下支持材（シル）が干渉するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、車体の振動等により当該パイプが損傷し、エアが漏れ、警音器が作動せず、最悪の場合、制動力が低下するおそれがある。

改善措置の内容

全車両、当該パイプを対策品に交換する。

注： は交換部品を示す。

識別： 作業完了車には、車両左後方点検リッド裏の位置に「HB-46」の文字が記載された白黄色シールを貼り付ける。